

登録コード:MH325300 開講年度:2026		授業科目区分	専横専門科目	必修
科目名	地域理学療法学【20M以降】 Community-Based Physical Therapy			
担当教員	横川 吉晴 他			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	理学療法学専攻 / 3 学年 後期 木曜・1 時限 木曜・2 時限			
単位数、講義室	2 単位	保健学科 2 2 2 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	地域医療および地域保健活動での理学療法士の役割や実践を理解し、説明できる。		
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	地域、在宅理学療法の概要を座学にて学ぶ。医療施設ではない、地域で実践を行うゲストスピーカーによる講義を通じて医療での理学療法士の活動との違いを学ぶ。さらに健康増進や災害対応に関する役割を学ぶ。 本授業は担当教員の臨床における理学療法士としての実務経験を活かして講義を行います。また、1年次に学んだ「理学療法概論」や2年次の「公衆衛生学」の知識を前提とし、3年次前期の疾患別の理学療法の内容と相補的に学んでいくことになります。そして、本授業の内容は、4年次の臨床実習における重要な基礎知識となります。			
授業計画	第 1回 (10月 1日) オリエンテーション、地域理学療法とは(横川) 第 2回 (10月 8日) 在宅高齢者のくらし(横川) 第 3回 (10月15日) 高齢者に対する医療・福祉制度(横川) 第 4回 (10月22日) 地域住民に関わる行政理学療法士の業務 (横内) 第 5回 (10月29日) 在宅で療養するこどもとの関わり(西澤) 第 6回 (11月 5日) 神経難病の人の暮らし (外部講師、「境をこえて」) 第 7回 (11月12日) 認知症の人の暮らし (伊藤) 第 8回 (11月19日) パラスポーツの概要と体験1(田口) 第 9回 (12月 3日) パラスポーツの概要と体験2(田口) 第10回 (12月10日) 起業活動 (田島) 第11回 (12月17日) 介護老人保健施設のリハビリテーション (青木) 第12回 (12月24日) 地域スポーツの関わり(杉本) 第13回 (1月 7日) 訪問リハビリテーション (横川) 第14回 (1月14日) 一次予防・介護予防等における役割(横川) 第15回 (1月21日) 国際協力活動(河上)・授業アンケート 第16回 (1月28日) 筆記試験			
授業の進め方	こどもから高齢者までの段階別のトピックス、介護保健および社会福祉制度や地域リハビリテーション等の講義を通じて、地域での理学療法士の役割を学ぶ。			
テキスト、教材、参考書	教科書 浅川 育世:ビジュアルレクチャー 地域理学療法学 コアカリ準拠.医師薬出版			
成績評価の方法	講義ごとのレポートとグループワーク、期末筆記試験に基づいて総括的に評価します。総括的評価の配分は、レポート(15回)35%、グループワーク5%、筆記試験60%とし、総得点の 60%以上を合格とします。なお、筆記試験では100点満点のうち60点以上の得点を得ることが必須です。 「グループワーク」は、事前にテーマを伝えますので、3 4名の少人数で授業以外の時間において情報収集と討論を行い、 パワーポイントスライドを用いて発表してもらいます。評価の観点は、発表内容の適切さ、資料の分かりやすさ、議論の深さ、質疑応答の内容などを指標とし、総合的に評価します。期末試験では、地域の課題やその対象者にむけた地域理学療法の考え方と具体的な実践方法についての理解度を確認します。			
成績評価の基準	期末試験では地域リハビリテーションの概要・介護保険制度・地域での理学療法士の活動全般の知識を測る試験を行います。 期末試験による成績評価の判定基準は以下の通りとします。90-100点:秀 80-89点:優 70-79点:良 60-69点:可 授業で示した例題と同レベルの問題が解ける、あるいはレポートの形式が整っている。 「水準にある」 :可 応用問題が解ける、あるいはレポートの内容が整っている。 「やや上にある」 :良 やや難しい応用問題が解ける、あるいはレポートの内容が充実している。 「かなり上にある」:優 例題からは難しい応用問題が解ける、あるいはレポートの内容が特に優れている。 「卓越している」 :秀 と評価します。			
事前事後学習の内容	【事前学習について】 座学では、授業の終わりに、次回までに調べておくべき内容について説明します。			

事前事後学習の内容	【事後学習について】 毎回リーディング課題を課す。授業開始直後にその理解を問う小テストを実施するので、それに備えて課題をしっかりと読み込んでから授業に挑むこと。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間(2時間×15回)+ 自己学習時間60時間(4時間×15回)= 90時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	地域理学療法の授業では、医療施設のリハビリテーションとの違いや地域での理学療法士の活動を理解することに重点を置きます。 * 第6回は同日午後3,4限、212教室にて行う予定 質問への対応:横川吉晴 fhakuba@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー 随時(要事前連絡)南校舎4階 横川研究室